

# MULTI BEAM FX

取扱説明書

V1.00



株式会社 サウンドハウス  
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3  
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222  
<http://www.soundhouse.co.jp> [shop@soundhouse.co.jp](mailto:shop@soundhouse.co.jp)

Item No 268496

## 目次

はじめに.....	3
製品仕様.....	3
安全上の注意.....	4
各部の名称.....	5
操作メニュー.....	6
基本操作.....	6
その他の設定.....	8
IR 赤外線リモコンによるコントロール.....	9
DMX チャート.....	10
技術資料.....	13
寸法図.....	13
ヒューズ交換.....	13
メンテナンス.....	14
故障かな?と思ったら.....	14

## はじめに

STAGE EVOLUTON MULTI BEAM FX をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
MULTI BEAM FX は、4 種類のエフェクトを一つのボディにまとめたマルチエフェクトです。  
本製品の性能を最大限に発揮させ、安全に、末永くお使いいただくため、ご使用になる前に、  
この取扱説明書を必ずお読みください。

## 製品仕様

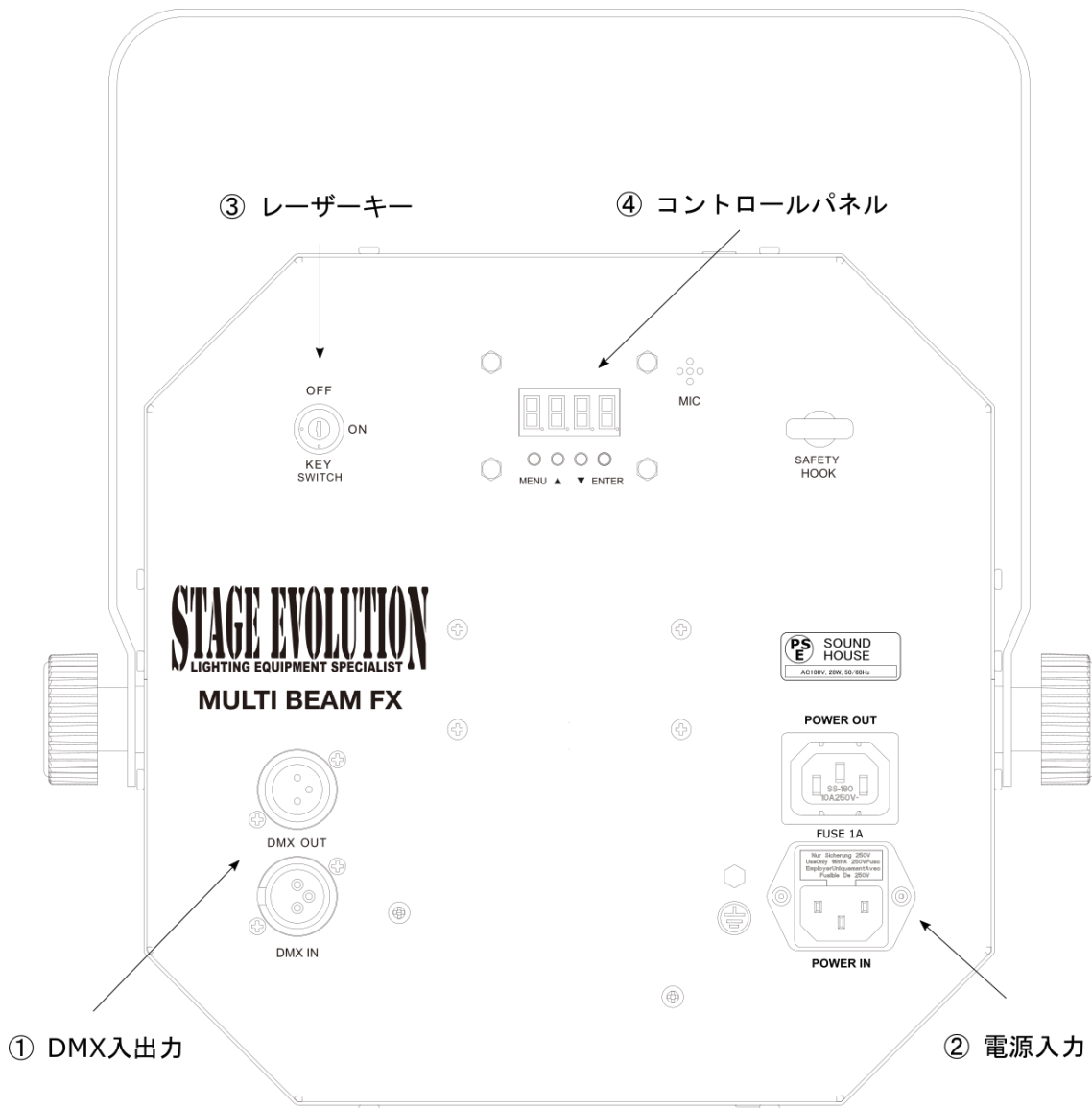
モデル	MULTI BEAM FX
LED	6x3W RGBWA+UV/8x4W RGBWA+UV 12x0.5W SMD/赤 100mW、緑 50mW レーザー
ビーム角	25 度
フラッシュレート	0 - 20Hz
コントロールモード	DMX、マスタースレーブ、オート、サウンドアクティブ
リモコン	赤外線リモコン対応
DMX チャンネル	2 チャンネルモード(4/13 チャンネル)
消費電力	72W
ヒューズ	1A
電圧	AC100V、50/60Hz
重量	4.2Kg
寸法	315 x 250 x 328 mm

## 安全上の注意

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。異常が認められる場合は本製品の使用を中止し、販売店にご相談ください。
2. 本製品は必ず安全で、安定した場所に設置してください。電源ケーブルは、踏まれたり挟まれたりすることのない場所に設置してください。
3. 接続がすべて完了してから、本製品の電源を入れてください。
4. 本製品を他の機材と接続する際は必ず電源ケーブルをコンセントから外してください。
5. ケーブルを抜き差しする際は、必ずコネクタ部を持って行ってください。
6. AC100V 50/60Hz 環境にてご使用ください。
7. デイマーパックからの電源供給は行わないでください。
8. 本体カバーを外さないでください。
9. 本製品は屋内専用です。屋外で使用した場合は保証対象外となります。
10. 周辺温度が 40 度を超える環境では使用しないでください。
11. 壁から約 15cm 以上離し、通気性の良い場所に設置してください。
12. 布やシート等を被せないでください。また周辺に可燃物や爆発物、温度の高い物等を置かないようにご注意ください。
13. 本製品に液体がかからないよう、また、雨天や湿気にさらさないようにご注意ください。感電や火災の原因となります。
14. 長時間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから外してください。
15. 故障が生じた場合は、販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。
16. メンテナンス以外の目的において、本製品を無断で分解しないでください。
17. 付属の電源ケーブルは、専用の電源ケーブルです。本製品をご使用の際は必ず付属の電源ケーブルを使用してください。
18. レーザーの光は、他の光源と異なり、網膜を傷つける危険性があります。
19. レーザーの光が直接、あるいは鏡面体に反射して目に入らないようにご利用ください。
20. レーザーの直視は避けてください。
21. レーザーは、床より 3m 以上の高さを照らすようにご利用ください。
22. レーザーを人や動物に向けて使用しないでください。
23. レーザーを鏡や窓など、光を反射するものに向けて使用しないでください。
24. レーザーを飛行機や空に向けて使用しないでください。
25. 化学物質を含む製品でレンズをクリーニングしないでください。

故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となる場合があります。

## 各部の名称



## 操作メニュー



MENU ボタン	UP ボタン	DOWN ボタン	ENTER ボタン
<ul style="list-style-type: none"> <li>• メニューを表示する</li> <li>• 前の画面に戻る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• メニューリストを上へ移動</li> <li>• 数値を増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• メニューリストを下へ移動</li> <li>• 数値を減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 決定、保存、確認、選択</li> </ul>

モード	MENU	説明
Auto	Au 1-7	オートプログラム
Sound	So 1-7	サウンドアクティブ・プログラム
Speed	SP 1-9	プログラムスピード
Sensitivity	Se 1-9	マイク感度
Silent scene	OFF/ON	サイレント検出
Infr	ON/OFF	IR リモコン
DMX mode	4CH/13CH	DMX アドレス
Slave	Slave	スレーブモード
Display	dISP/dSIP	ディスプレイ表示正常/反転

## 基本操作

### 【 操作 】

MULTI BEAM FX には、3 つの動作モードがあります。

- オートモード : 自動でパターンが変化します。
- サウンドアクティブモード : 内蔵マイクで感知した音に反応してパターンが切り替わります
- DMX モード : 外部 DMX コントローラーで操作します

## 【オートモード】

自動でパターンが変化します。

1. ディスプレイに「Auto」と表示されるまで、MENU ボタンを押します。
2. ENTER ボタンを押した後、UP・DOWN ボタンを使い、「Au1 から Au7」何れかの値を表示させ、ENTER ボタンを押します。(プログラムの設定)
3. ディスプレイに「SPEE」と表示されるまで、MENU ボタンを押します。
4. ENTER ボタンを押した後、UP・DOWN ボタンを使い、「SP1 から SP9」の任意の値を表示させ、ENTER ボタンを押します。(スピードの設定)

## 【サウンドアクティブモード】

内蔵マイクで感知した音に反応してパターンが切り替わります。

1. ディスプレイに「Soun」と表示されるまで、MENU ボタンを押します。
2. ENTER ボタンを押した後、UP・DOWN ボタンを使い、「So1 から So7」の任意の値を表示させ、ENTER ボタンを押します。(プログラムの設定)
3. ディスプレイに「SEnS」と表示されるまで、MENU ボタンを押します。
4. ENTER ボタンを押した後、UP・DOWN ボタンを使い、「SE1 から SE9」の任意の値を表示させ、ENTER ボタンを押します。(マイク感度の設定)

## 【 DMX モード 】

外部 DMX コントローラーで制御を行います。

1. ディスプレイに「Addr」と表示されるまで MENU ボタンを押します。
2. ENTER ボタンを押した後、UP・DOWN ボタンを使い、「4CH、13CH」の何れかの値を表示させ、ENTER ボタンを押します。(チャンネルモードの設定)
3. UP・DOWN ボタンを使い、「d001 から d512」までの任意のアドレスを表示させ、ENTER ボタンを押します。(スタートアドレスの設定)

## その他の設定

### 【 ディスプレイの反転 】

1. ディスプレイに「dISP」と表示されるまで MENU ボタンを押します。
2. ENTER ボタンを押した後、UP・DOWN ボタンを使い、「dSIP 」と表示させ、ENTER ボタンを押します。

### 【 スレーブモード 】

1. ディスプレイに「SLAV」と表示されるまで MENU ボタンを押します。
2. ENTER ボタンを押します。

### 【 赤外線リモコン 】

赤外線リモコンを使用する場合は、以下の設定をおこなってください。

1. ディスプレイに「InFr」と表示されるまで、MENU ボタンを押します。
2. ENTER ボタンを押した後、UP・DOWN ボタンを使い、「on」と表示させます。
3. ENTER ボタンを押します。



## IR 赤外線リモコンによるコントロール

### 【ブラックアウト】

1. 「BLACKOUT」ボタンを押すと現在のモードから抜けます。
2. 「BLACKOUT」ボタンをもう一度押すと前のモードに戻ります。

### 【オートモード】

3. 「AUTO」ボタンを押します。
4. 「+」「-」ボタンを使い「x」から「x」までの任意のプログラムを選択します。
5. 「SPEED」ボタンを押します。
6. 「+」「-」ボタンを使いプログラムスピードを選択します。  
「FADE」ボタンを使いオートプログラムをフェードアウトします。

### 【サウンドアクティブ・モード】

7. 「SOUND」ボタンを押します。
8. 「+」「-」ボタンを使い「x」、または「x」を選択します。
9. 「SENSITIVITY」ボタンを押します。
10. 「+」「-」ボタンを使いサウンド感度を選択します。

### 【ストロボ】

11. 「STROBE」ボタンを押します。
12. 「+」「-」ボタンを使いストロボの周期を設定します。

### 【DMX/%モード】

13. 「DMX/%」ボタンを押すと DMX モードが有効になります。
14. 「DMX/%」ボタンをもう一度押すと DMX モードは無効になります。

### 【マニュアルカラー・モード】

15. 「MANUAL」ボタンを押します。
16. 「R」、「B」、「A」、「W」、「A」、「UV/P」ボタンにより、変更する色を選択します。
17. 「+」「-」ボタンを使い、色の調整をします。

### 【UNIT モード】

18. 「UNIT」ボタンを押します。
19. 「R」、「B」、「A」、「W」、「A」、「UV」ボタンを使い、変更する色を選択します。
20. 「+」「-」ボタンを使い、色の調整をします。



## DMX チャート

### 4 チャンネルモード

CH1	0-9	機能無し
	10-19	赤
	20-29	緑
	30-39	青
	40-49	UV
	50-59	赤+緑
	60-69	緑+青
	70-79	青+UV
	80-89	赤+UV
	90-99	緑+UV
	100-109	赤+青
	110-119	赤+緑+青
	120-129	赤+緑+UV
	130-139	赤+青+UV
	140-149	緑+青+UV
	150-159	全 LED ON
160-209	レインボーグループエフェクト(遅い-速い)	
210-255	レインボーグループエフェクト+ストロボ (遅い-速い)	
CH2	0-9	機能無し
	10-255	LED エフェクト ストロボ(遅い-速い)
CH3	0-9	機能無し
	10-129	モーター時計回り(遅い-速い)
	130-255	モーター反時計回り(遅い-速い)
CH4	0-9	機能無し
	10-119	レーザーモーター時計回り(遅い-速い)
	120-129	レーザーモーター停止
	130-255	レーザーモーター反時計回り(遅い-速い)

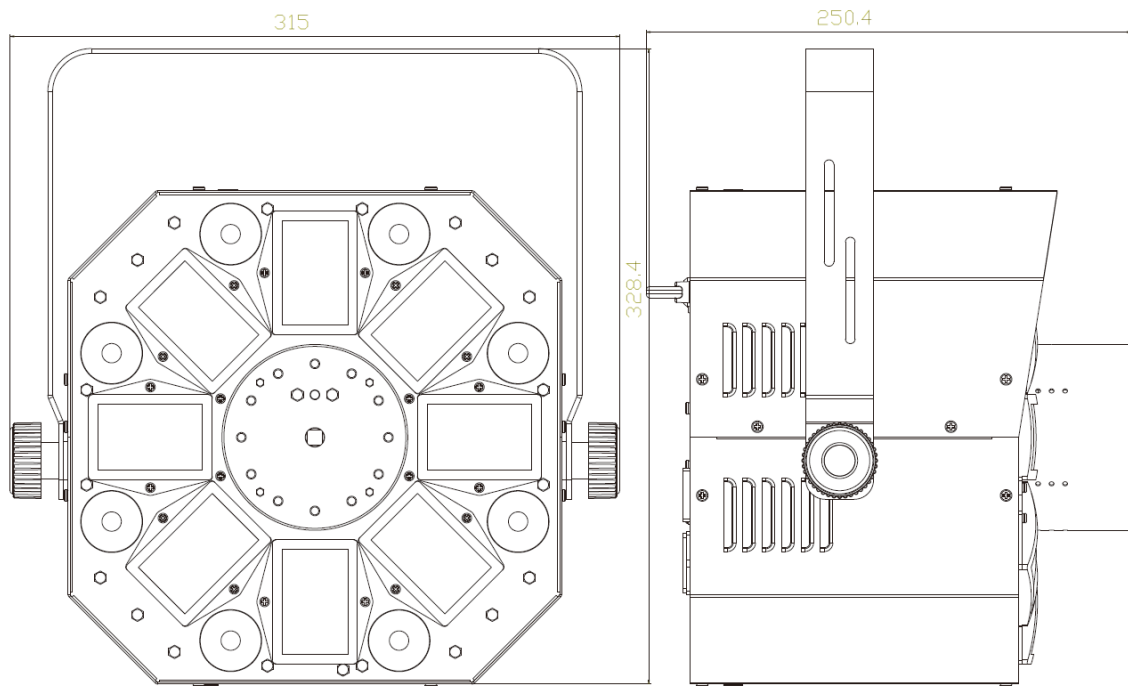
13 チャンネルモード

CH1	0-255	赤
CH2	0-255	緑
CH3	0-255	青
CH4	0-255	UV
CH5 (ウオッシュ)	0-9	機能無し
	10-19	赤
	20-29	緑
	30-39	青
	40-49	UV
	50-59	赤+緑
	60-69	緑+青
	70-79	青+UV
	80-89	赤+UV
	90-99	緑+UV
	100-109	赤+青
	110-119	赤+緑+青
	120-129	赤+緑+UV
	130-139	赤+青+UV
140-149	緑+青+UV	
150-159	全 LED ON	
160-255	レインボーエフェクト(遅い-速い)	
CH6	0-9	機能無し
	10-255	ウオッシュ LED ストロボ(遅い-速い)
CH7 (スワーム)	0-9	機能無し
	10-19	赤
	20-29	緑
	30-39	青
	40-49	UV
	50-59	赤+緑
	60-69	緑+青
	70-79	青+UV
	80-89	赤+UV
	90-99	緑+UV
100-109	赤+青	

	110-119 120-129 130-139 140-149 150-159 160-255	赤+緑+青 赤+緑+UV 赤+青+UV 緑+青+UV 全 LED ON レインボーエフェクト(遅い-速い)
CH8	0-9 10-255	機能無し スワーム LED ストロボ(遅い-速い)
CH9	0-9 10-129 130-255	機能無し モーター時計回り(遅い-速い) モーター反時計回り(遅い-速い)
CH10	0-9 10-59 60-109 110-159 160-255	機能無し レーザー赤 レーザー緑 レーザー赤+緑 レーザーレインボーエフェクト(遅い-速い)
CH11	0-9 10-129 130-255	機能無し レーザーモーター時計回り(遅い-速い) レーザーモーター反時計回り(遅い-速い)
CH12	0-9 10-255	機能無し SMD ストロボ(遅い-速い)
CH13	0-9 10-119 120-255	機能無し オートプログラム(遅い-速い) サウンドプログラム(遅い-速い)

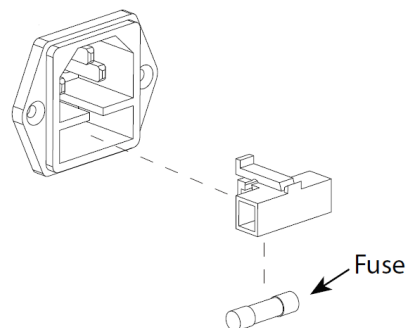
## 技術資料

## 寸法図



## ヒューズ交換

1. 電源ケーブルをコンセントから抜きます。
2. 電源ケーブル差し込み口の下にあるヒューズホルダーを取り外します。
3. ヒューズを新しいものに交換し、ヒューズホルダーを元に戻します。



## メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行ってください。メンテナンスを行う際は、必ず電源ケーブルをコンセントから外してください。

1. 通常のガラスクリーナーを使い、柔らかい布でケースを拭きます。
2. 外側のレンズは、ガラスクリーナーで 20 日に一度を目安にクリーニングしてください。
3. クリーニング後、電源を入れる前に、本体が完全に乾いていることを確認してください。

※クリーニングの頻度は、環境によって異なります。

## 故障かな？と思ったら

製品が正しく動作しない場合は、下記をご確認ください。

症状	確認事項
点灯しない	• 電源ケーブルが、正しく接続されているか確認してください。
暗い	• レンズを清掃してみてください。
電源が入らない	• 電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ヒューズが切れていないか確認してください。
サウンドに反応しない	• マイクを叩く音、非常に静かな音、ピッチの早い連続音には反応しない場合があります。

上記の方法でも症状が改善されない場合、また、その他の不具合が確認された場合は、販売店、もしくは正規代理店までお問い合わせください。

**STAGE EVOLUTION**  
LIGHTING EQUIPMENT SPECIALIST